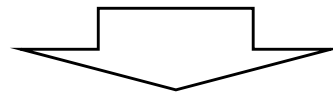


リハビリテーションに係る現状及び課題

【現状及び課題】

- リハビリテーションに係る診療報酬については、累次の改定において、算定要件等の見直しや、必要な項目の新設等を実施してきたところ。
- 疾患別リハビリテーション料、リハビリテーション総合計画評価料、摂食機能療法等の算定回数は、経年的に増加傾向である。
- 摂食嚥下障害を有する脳卒中の患者は、低栄養の患者が多く、管理栄養士が重点的に関わることにより、経口摂取への移行割合の向上等が見られるという報告がある。
- より効果的なリハビリテーションを提供するための、療法士による訓練を補完するものとして、ロボットやFESを用いたリハビリテーションの有効性等の報告がある。
- リンパ浮腫については、原因となる疾患や介入時期等について、ガイドラインの整備が進められている。
- リハビリテーション総合実施計画書等について、現場の運用の実態等を踏まえ、記載項目及び様式等の整理につき、検討する必要がある。



【論点】

- リハビリテーションに係る現状や平成30年度診療報酬改定後の算定状況等を踏まえ、必要な見直しを検討してはどうか。